

核兵器の非人道性に関する国際会議



議長総括

- ロシアによる核の威嚇は、**核抑止論**に基づく安全保障の脆弱性を示している。核兵器は戦争を防ぐどころか、核武装国による戦争開始を後押ししている。
- 新しい技術の発展は、**核抑止**が核戦争を防ぐという理論に疑問を投げかけている。
- 核抑止**に基づく安全保障は持続可能でない。
- 核兵器の非人道的影響やそのリスクに鑑みて、核兵器の有用性や**核抑止**の真実性を、事実に基づき再検討すべきである。

核兵器禁止条約第1回締約国会議



宣言「核兵器のない世界への誓約」

いかなる核兵器の使用や威嚇も、国連憲章をはじめとする国際法への違反である。我々は、あらゆる核の威嚇を、明示的であれ黙示的であれ、いかなる状況下であれ、明確に非難する。

我々は、核保有国が非核保有国に対してこの条約に入らないよう働きかけていることを非難する。そのエネルギーと資源は、核軍縮の前進のために使われるべきである。

我々は、目の前にある困難について幻想を抱いていないが、楽観主義と決意をもって前進する。最後の国がこの条約に加わり、最後の核弾頭が解体され、核兵器がこの地球上から完全に廃絶されるまで、止まることなく歩んでいく。

主要な決定事項

● **第2回締約国会議**は2023年11月27日～12月1日、ニューヨーク国連本部で。議長はメキシコ
(第3回締約国会議の議長はカザフスタン)

● 会期間ワーキンググループ

- (1) 条約の普遍化(南アフリカ、マレーシア)
 - (2) 被害者援助と環境修復(カザフスタン、キリバス)
 - (3) 核廃棄の検証等(メキシコ、ニュージーランド)
- ICRC、ICAN、関係国際機関等も参加できる

● 科学的諮問グループの設置

● **NPTとの協力に関するファシリテーター**: アイルランド、タイ

● **ジェンダーに関する調整役**: チリ

会期間作業に関する情報

https://www.icanw.org/tpnw_intersessional_work



Home | Banning Nuclear Weapons | The Treaty | Intersessional Progress on the TPNW

Intersessional Progress on the TPNW



SHARE



At the [First Meeting of States Parties](#) to the Treaty on the Prohibition of Nuclear Weapons, states-parties adopted the [Vienna Action Plan](#), with 50 concrete and progressive actions to implement the treaty and work towards a world free of nuclear weapons. The Vienna Action Plan created three informal working groups to take forward actions related to Articles 4, 6 and 7